

総合工学委員会・機械工学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 機械工学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>本分科会は、安全には工学としての技術だけではなく、人文科学、社会科学が深く係わりあっていることを念頭に、「安全の理念」をとりまとめ、活動を行っている。第24期は、「安全目標」、「老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理」の小委員会活動を継続し、「工学システムにおける社会安全目標」の提言を行った。また、「安心感等検討」の小委員会を立ち上げ、報告をとりまとめた。そして、世の中の安全向上へ寄与するために長年実施してきた学協会の横断的な活である「安全工学シンポジウム」を、開催した(2020年はオンライン)。</p> <p>25期は、これまでの活動を受けて、工学システムに関する安全・安心・リスクの体系化について検討を行うと共に、「安心感等」、「老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理」に関する小委員会を継続すると共に、新たに「安全におけるリスクアプローチ適用検討」に関する小委員会を立ち上げ、昨年度の提言、報告に関するフォローアップを行うと共に、検討を深化する。さらに、例年通り「安全工学シンポジウム」の開催を担当していく。さらに必要を認めた場合は、関連小委員会・WGを設置し機動的に審議を行う。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安全・安心・リスクの体系化</li> <li>2. 安心感等に関する検討</li> <li>3. 老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理</li> <li>4. 安全におけるリスクアプローチ適用に係る審議に関すること</li> </ol>
5	設置期間	令和2年10月29日 ～ 令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期より継続